



事務事業名	シルバー人材センター事業			事業コード	05020100201
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	大井 美幸
事業対象	公益社団法人 坂井市シルバー人材センターの会員（高齢者）				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	雇用の創出		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	高齢者等の雇用の安定等に関する法律			
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱			
関連計画	無				

【事業の概要】

定年退職後等の高齢者の就業機会を確保し、生きがいの充実及び社会参加の推進を図るとともに、健康的な生活の推進と高齢者の知識、技術を広く地域社会に活用することを目的とします。

坂井市シルバー人材センターに対し補助金の交付を行います。（国庫補助基準に基づく助成）

○補助金 13,412千円  
坂井市シルバー人材センター事業活動補助金（高齢者就業機会確保事業）

◎運営費補助金 10,700千円

◎企画提案方式事業補助金 2,712千円  
社会地域における「教育」、「子育て」、「介護」及び「環境」分野の需要に対応するため、シルバー又は活動拠点となる地方公共団体が連携し、共同で企画提案した事業  
・しるばーファーム事業 1,312千円  
・利再来（リサイクル）事業 1,400千円

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	シルバー人材センターへの補助は、高齢者等の雇用の安定及び就業機会の確保を図るために、地方公共団体が必要な措置を講じることを法律で規定されたものであり、今後とも国の高齢者就労施策の動向を見極めながら、法律の趣旨に従い、シルバー人材センターの運営に必要な援助を行うと共に、事務事業の効率化に努めるよう指導・助言をしていきたいと思ひます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	同法人の事業計画及び収支予算に沿った事業が適正に執行されているかについて指導・助言しました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	公益社団法人の法人格を取得したことにより、「公益目的事業費率50%以上」、「遊休財産額が制限を超えないこと」及び「公益目的事業の収支相償」をはじめとした公益認定基準の全てを維持し続ける必要があることから、平成24年度以降の中期5ヵ年財政基本計画の提出を求めたうえで、適正指導に努めたいと思ひます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	中期（平成24年度から平成28年度）財政基本計画の提出を求めるにあたり、経常収益及び経常費用の算定に関し、現状のシルバー人材センターを取り巻く環境をはじめ、現下の経済情勢を勘案することは勿論、事務事業の改善、更には適正な事務局職員の適正配置等、歳出削減について協議を重ね、公益社団法人としてあるべき計画となるよう指導・助言をしました。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	労働費	項	労働諸費	目	労働諸費					
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	13,412千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			事業費合計	13,412千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費		正職員	0.22人	1,495千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.22人	1,495千円	人	千円	人	千円	人	千円
			総事業費	14,907千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源			14,907千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		財源合計	14,907千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性		改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	高齢者の雇用・就業の機会確保と社会参加を促進するため、国の施策・方針を基本に自治体として必要な支援を継続する必要があります。ただ、シルバー人材センターの運営、事業実施に当たっては、より一層の組織・事業の簡素化・効率化を進める必要があります。				
実施主体の方向性		現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	行政と関係機関が連携を図りながら推進していく施策であると考えます。				
コスト投入の方向性		現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	社会経済情勢の変化を考慮する必要がありますが、基本的には国の基準に基づいた対応を進めます。				
人員投入の方向性		現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	現状の体制で対応できると考えます。				
すぐにできる改善提案	今後とも国の高齢者就労施策の動向を見極めながら、法律の趣旨に従い、シルバー人材センターの運営に必要な援助を行うと共に、事務事業の効率化に努めるよう中長期的な見直しを持つよう指導・助言をしていきます。				
目標年度	平成24	年度			
中長期的に取り組むべき改善提案	厳しい社会経済情勢の中、高齢者の雇用の安定、就業機会の確保はますます困難が予想されるとともに、制度に基づく助成も見通しが立っていません。このような状況において、シルバー人材センターには、自主事業の展開とより一層の経営改善に取り組む必要があり、市としても補助金、公共事業に依存しない運営に脱却できるよう不断に指導助言を継続していきます。				
目標年度	--	年度			

【事業の成果】

指標名		単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	
成果	会員数	人	目標値	1400	達成率	1400	達成率	
			実績値	1249	89.21	1206	1293	1325
成果	就業延べ人数	人	目標値	141000	達成率		達成率	
			実績値	142928	101.37	140120	132705	142133
活動	事務費収入	千円	目標値	46616	達成率	42027	達成率	
			実績値	44741	95.98	43095	102.54	40930
活動	受注契約額	千円	目標値	728616	達成率	628036	達成率	
			実績値	695593	95.47	689157	109.73	654609
活動	受注契約数	千円	目標値	11000	達成率		達成率	
			実績値	10060	91.45	10609	---	10047
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					



事務事業名	雇用促進住宅駐車場管理事業			事業コード	05020200301		
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	大井 美幸		
事業対象	雇用促進住宅の入居者のうち駐車場の賃貸契約者。						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	雇用の創出		事業種別	施設管理事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市雇用促進住宅駐車場条例、坂井市雇用促進住宅駐車場条例施行規則					
関連計画	無						
事業の概要	雇用促進住宅駐車場の秩序ある維持管理を行います。						
	雇用促進住宅駐車場利用料の徴収事務						
事業の目的・事業の概要等							

すぐにできる改善提案	丸岡町地係の雇用促進住宅駐車場については、利用者もない状況で、その後、駐車場の土地の持ち主との借約もしていない。春江町田端地係の雇用促進住宅の駐車場契約者もH24.3で契約が切れ、H24年度からは契約者なしとなる。春江町田端地係の駐車上は市有地なので、今後の利活用について検討しなければならない。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	雇用促進住宅につきましては、平成19年6月22日付けの閣議決定で示された「規制改革推進のための3ヵ年計画」に基づき、平成33年度までに譲渡・廃止の処理を完了することとされたところであります。このことから現在、継続的に所轄の独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構と協議をしているところであり、国の動向をはじめ近隣の市町の取り組み等を見極めつつ、あるべき取り扱いを模索しているところであります。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	C
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	C
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	労働費	項	労働諸費	目	労働施設費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	1千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.07人	476千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.07人	476千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		477千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料		1千円	千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		476千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		477千円	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	廃止します。	目標年度	平成23	年度を目安
判断事由	駐車場の使用者がいなくなるため、使用料徴収事務は不要となります。			
実施主体の方向性	廃止します。	目標年度	平成23	年度を目安
判断事由	使用者がいなくなるため廃止します。			
コスト投入の方向性	廃止します。	目標年度	平成23	年度を目安
判断事由	使用者がいなくなるため廃止します。			
人員投入の方向性	廃止します。	目標年度	平成23	年度を目安
判断事由	使用者がいなくなるため廃止します。			
すぐにできる改善提案	使用者がいなくなるため、廃止します。			
目標年度 平成23 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	使用者がいなくなるため廃止します。			
目標年度 平成23 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	口座振替件数	件	目標値		212		340		452		
			実績値								
成果	駐車場管理箇所	箇所	目標値		1		2		2		2
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	研修センター維持管理事業			事業コード	05020200401		
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	大井 美幸		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	雇用の創出		事業種別	施設管理事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有 坂井市研修センター条例、坂井市研修センター条例施行規則						
関連計画	無						
【事業の概要】	青少年の健全育成や成人の学習意欲の向上のための講座や学習会を開催し、教育振興及び文化の向上を図ります。						
	○平成20年度までは坂井市シルバー人材センターの事務所として活用 ↓ ○平成21年度に施設の老朽化により、シルバー人材センター事務所の移転 ↓ ○現在は電気・水道を停止、使用できない状況						

予算	款	労働費	項	労働諸費	目	労働施設費					
【事業の概要】	コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	4千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	4千円	千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	正職員	0.07人	476千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.07人	476千円	人	千円	人	千円	人	千円
			総事業費	480千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円					
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円					
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円					
一般財源	480千円	千円	千円	千円	千円	千円					
財源合計	480千円	千円	千円	千円	千円	千円					

指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
【事業の概要】	成果	イベント等施設使用件数	件	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率
				実績値	1	100	1	100	1	100
【事業の概要】	活動	現在休館中だが、定期的に見回した件数	件	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率
				実績値	12	100	12	100	12	100
【事業の概要】				目標値		達成率		達成率		達成率
				実績値						
【事業の概要】				目標値		達成率		達成率		達成率
				実績値						
【事業の概要】				目標値		達成率		達成率		達成率
				実績値						
【事業の概要】				目標値		達成率		達成率		達成率
				実績値						

【前年度改善案に対する取組状況】	すぐに行える改善提案	公の施設の見直し作業の中で、行政財産から普通財産に移行し、移行後におきましては処分策を検討する必要がとっております。
目標年度	未設定	年度
取組状況	現在は休館中の施設ですが、防災管理上、定期的な見回りを実施しました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	公の施設の見直し作業の中で、行政財産から普通財産に移行し、移行後におきましては処分策を検討する必要がとっております。	
目標年度	未設定	年度
取組状況		

【担当者評価】	有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	C
		【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	C
		【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
		【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C

【所屬長評価】	事業の方向性	休止します。	目標年度	平成23	年度を目安
判断事由	当施設は、平成20年度までシルバー人材センター事務所として利用されていましたが、老朽化が著しいため移転され、その後閉鎖しています。				
【所屬長評価】	実施主体の方向性	休止します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	施設の廃止を含め今後の方向性を検討します。				
【所屬長評価】	コスト投入の方向性	休止します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	施設の廃止を含め今後の方向性を検討します。				
【所屬長評価】	人員投入の方向性	休止します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	施設の廃止を含め今後の方向性を検討します。				
【所屬長評価】	すぐに行える改善提案	シルバー人材センター事務所の移転後は、使用されていません。地域の生涯学習研修施設としての本来の目的とあわせ、公共施設のあり方の検討の中で今後の方向性を定めていきたいと考えます。			
目標年度	平成24	年度			
【所屬長評価】	中長期的に取り組むべき改善提案	施設の廃止を含め今後の方向性を検討していきます。			
目標年度	平成25	年度			

事務事業名	商工一般管理事務事業			事業コード	07010100201		
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	大井 美幸		
事業対象	福井県中小企業団体中央会、福井県貿易振興協議会						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	商業の振興		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の目的・事業の概要等	市内中小企業の経営支援及び貿易に関する情報提供等を行う団体への支援を実施することにより、商工業全般にわたって振興を図ります。						
	○負担金 ・福井県中小企業団体中央会負担金 42千円 ・福井県貿易振興協議会負担金 325千円						

すぐに行える改善提案	法外負担金の支出負担であることから、双方の団体の会計決算状況を見極め、適正に執行されているかを見極める必要があります。		
目標年度	平成23	年度	
取組状況	福井県中小企業団体中央会および福井県貿易振興協議会へ、負担金の支出を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	市内中小企業の公正な経済活動の機会を確保すると共に、海外進出を計画・実践している企業に対し、最新の情報を提供し、もって貿易拡大及び経済協力の促進を図りたいと思います。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	商工費	項	商工費	目	商工総務費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	52千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	52千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.52人	3,533千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.52人	3,533千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		3,585千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			3,585千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計			3,585千円	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	中小企業（団体）の育成、海外情報の発信・提供、貿易相談など市単独では対応できない業務を実施する機関への負担金であるため、このまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	行政と関係機関が連携しながら取り組んでいく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	各関係機関の事業内容にもよりますが、基本的には現状維持の方向で効果的な負担となるようチェックしていきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制で対応していきます。			
すぐに行える改善提案	市内中小企業（団体）の育成と連携を推進すると共に、海外進出を計画・実践している企業に対して最新の情報を提供していきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も、関係機関を通じて市内中小企業（団体）の育成・連携を推進します。また、海外進出支援、輸出促進等のための情報の発信・提供、貿易相談事業の展開も図っていきます。			
目標年度	--	年度		

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	福井県貿易振興協議会への負担金	千円	目標値 325 達成率	325 達成率	325 達成率	325 達成率
		実績値	325 100	325	325	325
成果	福井県中小企業団体中央会への負担金額	千円	目標値 42 達成率	42 達成率	42 達成率	42 達成率
		実績値	42 100	42	42	42
活動	負担金支払先・福井県貿易振興協議会、福井県中小企業団体中央会	件	目標値 2 達成率	2 達成率	2 達成率	2 達成率
		実績値	2 100	2 100	2 100	2 --
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			



事務事業名	商業振興対策事業		事業コード	07010200401	
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	水上 慶彦
事業対象	①市内に本社または工場、事業所等を有する法人 ②市内に住所を有する個人				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	商業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市補助金等交付規則・坂井市産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱				
関連計画	無				

【事業の概要】

本市の商業振興対策として、物産展参加及び商店街事業に対し助成を行うことにより、販路の拡大、商店街の活性化及び振興を図る。

- ・物産展参加助成金  
自社製品の販路拡大等のための物産展参加に対する助成  
【補助率等】 1/3以内 40千円限度/1事業  
【事業内容】 物産展参加に要する経費（小間代・旅費・運搬費等）
- ・商店街等振興事業費補助金  
商店街振興組合等が行う商店街環境整備事業及び商店街活性化事業に対する助成  
商店街環境整備  
【補助率等】 1/2以内 1,000千円限度  
【事業内容】 商店街等が実施するハード事業に対する補助  
商店街活性化事業  
【補助率等】 1/3以内 500千円限度  
【事業内容】 商店街等が実施するソフト事業に対する補助

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	坂井市商工会と情報を共有するなか、市内事業者のニーズをクローズアップすると共に、既存施策を市広報誌をはじめホームページで紹介し、広く周知していきたいと考えております。	
目標年度 平成24 年度		
取組状況	市以外の制度の情報を郵送にて送付した。	
中長期的に取り組むべき改善提案		
目標年度 未設定 年度		
取組状況		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	C
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	C
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	931 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	931 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.23 人	1,563 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.23 人	1,563 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		2,494 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		2,494 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		2,494 千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	地域の商店街等が自主的に取り組む新規開拓、活性化等の事業に対する支援として継続していく必要があると考えますが、事業内容が定例化しており、効果的な支援となるよう検討する必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	地域商店街の振興のため、行政施策として支援していく必要があると考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	事業内容を検証しながら助成を継続していきますが、より効果的な支援となるよう協議していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	現在の体制で対応していきます。			
すぐにできる改善提案	坂井市商工会と連携し、市内事業者のニーズの把握に努める共に、有効な支援策となるよう制度の啓発・PRに努めるとともに、実施事業の見直しの検討を提案していきます。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	事業の実績と効果を精査し、より一層の有効な支援策となるよう努めます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	申請件数	目標値	5	達成率 5	10	達成率 10
		実績値	4	80	4	7
活動	補助金対象団体への周知	目標値	2	達成率 2	2	達成率 2
		実績値	2	100	1	1
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の成果】

事務事業名	中小企業支援事業			事業コード	07010200501		
所管部署	観光産業課	電話	50-3153		記入者名	水上 慶彦	
事業対象	中小企業信用保険法に定める市内中小企業者						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	商業の振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	有	中小企業信用保険法特定中小企業者認定要領・東日本大震災復興緊急保証中小企業者認定要領					
根拠例規	有	坂井市中小企業者等振興資金融資要綱・坂井市制度融資利子補給金交付要綱					
関連計画	無						
【事業の概要】	<p>中小企業者等振興資金預託事業 金融機関と協調した中小企業事業者向けの融資事業で、市内の中小企業者等に対し、経営基盤の強化及び事業の活性化を促進するために必要な資金を低利で融資することにより、本市産業の発展に寄与することを目的とします。</p>						
	<p>市内の指定金融機関に必要な原資を預託（金融機関の協調5倍） 【制度内容】 ◎一般資金（運転資金・設備資金） ・融資期間   運転資金 7年以内（据置1年以内）   設備資金 7年以内（据置6ヶ月以内） ・融資限度額   運転資金 1,000万円   設備資金 3,000万円 ◎開業資金 ・融資期間 7年以内（据置1年以内） ・融資限度額 1,500万円 ※坂井市制度融資利子補給事業 【利子補給率】 1% 【補給期間】 融資実行日から1,095日間（3年間）</p> <p>・制度融資利子補給事業 中小企業者等振興資金融資を受けた資金に係る利子に対し利子補給金を交付することにより、中小企業者等の金利負担の軽減を図る。 ・中小企業信用保険法特定中小企業者認定事務事業 一時的な業況の悪化、金融機関の経営合理化、取引先企業の破たん等により経営安定に支障が生じている中小企業者に対し、中小企業信用保険法に基づく特定中小企業者であることの証明を行う。 ・東日本大震災復興緊急保証中小企業者認定要領 東日本大震災の影響により経営安定に支障が生じている中小企業者に対し、東日本大震災復興緊急保証に基づき認定を行う。</p>						

予算	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費					
【事業の概要】	コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			その他	367千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			事業費合計	367千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		人件費	正職員	1.00人	6,795千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.00人	6,795千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費		7,162千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
				使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
				分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
				地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源			7,162千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計			7,162千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
【事業の概要】	成果	利子補給申請率	%	目標値	95	達成率	95
				実績値	90.0	94.74	84.1
【事業の概要】	成果	振興資金利用件数	件	目標値	250	達成率	250
				実績値		---	213
【事業の概要】	活動	チラシ・ホームページ更新	回	目標値	2	達成率	2
				実績値	2	100	2
【事業の概要】	活動	対象者・銀行への案内	回	目標値	2	達成率	1
				実績値	2	100	1
【事業の概要】				目標値		達成率	
				実績値			
【事業の概要】				目標値		達成率	
				実績値			

すぐにできる改善提案	中小企業者等振興資金預託事務⇒これまでどおり、実績に基づいて預託を行います。制度融資利子補給事業⇒これまでどおり、1%の3年間となります。中小企業信用保険法特定中小企業者認定事務⇒これまでどおり行います。東日本大震災復興緊急保証中小企業者認定業務⇒新規で行います。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断理由	中小事業者の運転資金・設備資金に対する融資制度、並びに利子補給制度は、活用実績や金融機関の協調性からみて、必要性が高い事業であると考えます。今後、社会経済情勢及び中小事業者・関係団体等の意見を踏まえ、より効果的な制度となるよう改善しながら継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	金融機関との協調体制、市商工会との連携により継続することで効率的、効果的な支援ができると考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	利用実績に基づいた現状を基本としながら、関係機関との連携により継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	関係機関との連携を強化しながら、現状の体制で対応していきます。			
すぐにできる改善提案	市の制度融資ばかりではなく、日本政策金融公庫が扱う小規模事業者経営改善資金（マル経資金）についても、利子補給の対象とするよう見直しを図ります。			
目標年度	平成24	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も、社会経済の動向及び関係団体等の意見を踏まえ、時代にマッチした制度内容となるよう見直しを図っていきます。			
目標年度	--	年度		



事務事業名	工業振興対策事業			事業コード	07010200701		
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	齊藤 宏枝		
事業対象	市内の織物団体						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	工業の振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱					
関連計画	無						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

伝統的地場産業である織物・繊維産業の関連団体が実施する新製品の開発、人材育成、市内外への情報発信等の事業を支援することにより、織物・繊維産業の振興を図ります。

地場産業である繊維産業の振興を図るために織物団体が行う試験研究事業、先進地視察事業、展示会展覧及び販路開拓事業等に対する助成

○補助金（織物振興事業費補助金） 2,500千円

1. 団体個別事業費補助金 1,000千円  
補助限度額（1補助事業20万円）

事業の内容 補助率等  
1) 試験研究事業 補助対象経費の2/3以内  
2) 先進地視察事業 補助対象経費の1/3以内  
3) 展示会展覧事業、販路開拓事業、市場調査事業及び人材育成事業 補助対象経費の1/2以内

2. 団体連携事業費補助金 1,500千円  
補助限度額（1補助事業150万円）

事業の内容 補助率等  
1) 試験研究事業 補助対象経費の2/3以内  
2) 講習会事業、織物産業普及事業及び市場調査事業 補助対象経費の1/2以内  
3) 先進地視察事業 補助対象経費の1/3以内

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費					
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	259千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			事業費合計	259千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費		正職員	0.77人	5,232千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.77人	5,232千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		5,491千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源			5,491千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計			5,491千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度		
成果	申請件数	目標値	5	達成率	5	達成率	5	達成率
		実績値	4	80	4	4	6	
活動	補助内容説明（対象となる団体に補助内容を説明している）	目標値	5	達成率	5	達成率	5	達成率
		実績値	5	100	5	100	5	100
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						

すぐにできる改善提案	市内の織物関係者を対象に、伝統的地場産業である織物・繊維産業の関連団体が実施する新製品の開発、人材育成、市内外への情報発信等を積極的にサポートしていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	対象となる団体には補助内容の説明をしています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	織物・繊維産業の振興を図る目的で補助しているものですが、実際には、特定の業種だけに補助されている実態もあることから、今後、商工会など関係団体と協議するなか、基本的な考え方を再度整理すると共に、他の業種も対象とするような制度設計の再構築を図りたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	地場産業である繊維産業の振興を図るための新製品開発・販路拡大に対する支援は必要であり、継続する必要があると考えますが、事業実績から効果的な活用がなされているか検討する必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	地場産業を中心とした市内中小事業者・工業の育成・振興は、行政施策として今後も継続していく必要があると考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	現状の継続を基本としながら、企業実績の内容・効果を検証しながらより効果的な制度内容となるよう検討・協議していく必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	現状の体制の下で、関係機関・団体との連携しながら対応していきます。			
すぐにできる改善提案	事業内容が、情報収集・先進地視察等と偏っており、その結果としての事業活動に結びついていないので、関係団体と制度の趣旨と基本的な考え方を再度整理すると共に、内容に見直しも検討していきたいと考えます。			
目標年度	平成25	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	市商工会、関係団体等との協議により、制度の内容及び対象業種、事業の拡大等も含め、抜本的な見直しを進めていきます。			
目標年度	平成29	年度		

【所属長評価】

事務事業名	坂井市産業フェア事業			事業コード	07010201101
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	八杉 茂樹
事業対象	企業及び市民				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	工業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

市内の各種産業を広く宣伝紹介するとともに販路拡大を図り、併せて出展者相互の交流を深め、市内産業の更なる振興と地域文化の融合に資することを目的とします。

○補助金 200千円  
坂井市産業フェア補助金 200千円  
※産業フェアは隔年開催のために本年度は準備に要する費用

すぐにできる改善提案	本市には最先端技術を有する企業から、長い歴史と伝統が育んだ伝統的産業を営む企業まで、幅広い企業が、それぞれの世界で活動を繰り広げておりますが、地域経済全体を底上げしていくためには、それら各企業団体等の更なる躍動的な活動が必要不可欠であります。また、今まで以上に更なる経済波及効果を追求しなければ、坂井市産業界の本当の発展はあり得ないものと考えます。市としましては、こうした背景を深く認識したうえで、産業フェアを市内産業界のネットワークを構築するためのシンポ	
目標年度 平成24 年度		
取組状況	産業フェアは隔年開催ということで本年度は次年度開催に向けて、準備会を1回、坂井市産業フェア実行委員会を4回、実行委員理事会を1回開催しました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	同類のものは近隣だけでも相当数開催されておりますので、坂井市の特色を生かした中で、参加者すべてに価値のある産業フェアの構築が必要と考えます。	
目標年度 平成24 年度		
取組状況	平成24年度は第1回目と開催場所を変更し、まだ次回が第2回目なので試行錯誤などありますが、より魅力的な内容になるよう取り組んでいます。	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	200 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	200 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.77 人	5,232 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.77 人	5,232 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		5,432 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		5,432 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		5,432 千円	千円	千円	千円	千円				

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	1000	達成率	達成率	達成率		
成果	売上高	千円	目標値		1000	達成率		達成率		達成率	
			実績値		5000						
成果	来場者数	人	目標値		20000	達成率		達成率		達成率	
			実績値		30000						
活動	実行委員会開催数	回	目標値	4	達成率	6	達成率	達成率	達成率	達成率	
			実績値	4	100	6	100				
			目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
			実績値								
			目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
			実績値								
			目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
			実績値								

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由	市内産業のPRと技術・付加価値の高さの認識及び地域文化との融合、また、企業間の交流・ビジネスマッチング機会の創出を図ることにより、市内産業の総合的な振興を目指すイベントとして、継続して開催していく必要があると考えます。継続に当たっては、開催後の評価と課題を検証し次回に反映していく必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	産業フェアは、市内全ての産業の分野において、企業・事業所・関係団体・関係機関及び行政が連携しながら開催することで効果が発するものであり、今後も、それぞれの役割を果たしながら継続していく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	現状を基本としながら、事業内容、効果、集客実績を検証し、参画者全体で事業の規模・あり方を協議していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	市の体制は現状を基本とし、事業は、参画者全体で役割分担しながら実行委員会主体で対応していくものと考えています。			
すぐにできる改善提案	前回の評価・課題を踏まえ、開催コンセプトや会場運営の整理・見直しを図ると共に、より一層の集客と参画企業の拡大に努めます。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も、開催後の評価と反省を踏まえ、行政主体ではなく企業主体で運営できるよう意識の高揚を図ると共に、商工業ばかりではなく全ての産業が参画するイベントとして、また、商談・人材育成確保など価値のあるものとなるよう内容の改善、あり方の検討を行いながら進めていきます。			
目標年度 -- 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	1000	達成率	達成率	達成率		
成果	売上高	千円	目標値		1000	達成率		達成率		達成率	
			実績値		5000						
成果	来場者数	人	目標値		20000	達成率		達成率		達成率	
			実績値		30000						
活動	実行委員会開催数	回	目標値	4	達成率	6	達成率	達成率	達成率	達成率	
			実績値	4	100	6	100				
			目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
			実績値								
			目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
			実績値								
			目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
			実績値								

事務事業名	観光一般事務事業			事業コード	07010300201		
所管部署	観光産業課	電話		記入者名	江澤 正隆		
事業対象	市内で観光に携わる市民						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	観光情報の発信			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の目的・事業の概要等	海浜自然公園の適正な管理運営及び観光客の入り込み調査を行います。						
	海浜公園の適正な維持管理業務、観光行政を進めるための基礎資料となる観光客入込数等の調査						

すぐにできる改善提案	現状のまま事業を継続します。		
目標年度 平成34 年度			
取組状況	三国海浜自然公園を適正な管理運営をするための管理人や清掃作業人の賃金などの支払い、観光客の入り込み調査を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光総務費				
		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	5 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	5 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.59 人	4,009 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.59 人	4,009 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	4,014 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		一般財源	4,014 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		財源合計	4,014 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	海浜自然公園の管理については、市民が利用しやすいように施設内用、運営・手続きの見直しを図りながら継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	海浜自然公園の管理運営は市が主体となって継続していくことを基本としますが、より市民サービスの充実を目指し、民間のノウハウを活用できる指定管理者の導入を進めています。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	—	年度を目安
判断理由	現状の維持を基本としますが、より一層の経費削減及びサービスの充実を図ることができるよう管理体制のあり方を検討していきます。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	経費の削減とサービスの充実を目指し、指定管理者制度の導入を検討します。			
すぐにできる改善提案	海浜自然公園について、円滑に運営管理ができるよう事務分掌・管理体制の見直しを図ります。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	海浜自然公園の施設の利用度向上と柔軟な運営を実現するため、指定管理者の導入を進めます。			
目標年度 平成25 年度				

指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
成果	市内への観光客の入り込み数	人	目標値	5500000	達成率	5400000	達成率	5300000	達成率	5200000
		実績値		---	5314695		5449292		5152576	
活動	海浜自然公園臨時職員賃金額	円	目標値	2000000	達成率	2000000	達成率	2000000	達成率	2200000
		実績値	1989098	99.45	2232381	111.62	2067371	103.37	2118632	---
活動	海浜自然公園臨時職員数	人	目標値	5	達成率	5	達成率	5	達成率	5
		実績値	5	100	5	100	5	100	5	---
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							

事務事業名	観光一般諸事業			事業コード	07010400101		
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	森 崇聡		
事業対象	各種協議会、観光関連団体						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	観光のネットワーク化			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	市が加盟する広域観光組織や観光団体等の実施する事業に対する負担を行うことにより、坂井市観光全般にわたって振興を図ります。						
	○負担金 ・ 芦原温泉駅ブロック観光開発協議会負担金 ・ 日本さくらの会負担金 ・ 県観光連盟負担金 ・ 広域観光助成事業負担金 ・ 福井コンベンション協会負担金 ・ 北陸国際観光テーマ地区福井県地区推進協議会負担金 ・ 福井坂井奥越広域観光圏事務費負担金 ・ 越前加賀観光推進協議会負担金 ・ 越前加賀宗教文化街道～祈りの道～推進協議会負担金						
事業の目的・事業の概要等							

すぐに行える改善提案	各種団体等の負担金支払いが主であるが、各団体との連携・協力による観光宣伝等は必要であると思われます。しかし、すべてを見直した中、芦原温泉駅ブロック観光開発協議会負担金については、事業内容を精査した上で見直し、廃止としたいと考えています。		
目標年度 平成24 年度			
取組状況	芦原温泉駅ブロック観光開発協議会負担金については、現在検討中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,807 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	1,807 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.48 人	3,262 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.48 人	3,262 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		5,069 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		5,069 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		5,069 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	観光誘客については、市単独で実施できない事業、あるいは効果が発揮できない事業があり、広域的に取り組むべきものがあります。このため、現在の広域的な連携の中で取り組んでいる事業に付いて、費用対効果を検討しながら継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	市単独でできない事業や県・近隣の市町等と共同で取り組むことで効果が発する事業については、現状どおり継続していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	現状維持を基本としますが、観光をめぐる状況の変化、観光客の動向を踏まえ、広域対応事業への効果的な施策を念頭に、関係団体との協議のなかでコスト投入を図っていきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	現状の体制で対応していきます。			
すぐに行える改善提案	各団体との連携・協力による観光宣伝等は必要ですが、芦原温泉駅ブロック観光開発協議会などそれぞれの事業内容を精査した上で見直しを行っていきたくと考えています。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	広域的な連携は、今後ますます重要になってくると思われます。既存の組織との整理・統廃合を踏まえ、より効果的で効率的な事業実施に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	市内への観光客入り込み数	目標値	5500000	達成率 5400000	達成率 5300000	達成率 5200000
		実績値	3777300	68.68	5314695	5449292
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	観光協会助成事業			事業コード	07010400201
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	北澤 和義
事業対象	坂井市三国観光協会、坂井市丸岡観光協会				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	観光情報の発信		事業種別	補助金事業（団体）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則 産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱			
関連計画	無				
事業の概要	観光協会が行う観光地の活性化事業、観光資源の開発及び宣伝事業に要する経費に対して支援することにより、観光の振興を図ります。				
	観光協会の管理運営費、負担金及び観光PR、出向宣伝等の活動費に対する助成				
事業の目的・事業の概要等	○補助金 ・三国観光協会補助金 ・丸岡観光協会補助金 【補助率】人件費及び管理運営費 1/2以内、負担金及び活動費10/10以内				
	・古城グリーンロードレース大会事業費補助金 【事業実施主体】バイシクルフェスタ実行委員会				

すぐにできる改善提案	観光協会が行う事業で、本来市が行うべきものもありますが、そのような活動を行っていることは高く評価できるものです。平成20年度に市観光連盟が設立され、観光ビジョン戦略計画を元に各観光団体との連携を取りながら様々な活動を行っており、その一役を担う団体であることも明白であります。今後、市観光連盟が大きく育ち、観光協会等を取り巻きながら更に成長するためには、組織の見直しや運営方法などの検討が必要であり、その中で事業の精査を行っていくべきと考えられます。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	具体策について、現在、検討中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	観光協会が行う事業で、本来市が行うべきものもありますが、そのような活動を行っていることは高く評価できるものです。平成20年度に市観光連盟が設立され、観光ビジョン戦略計画を元に各観光団体との連携を取りながら様々な活動を行っており、その一役を担う団体であることも明白であります。今後、市観光連盟が大きく育ち、観光協会等を取り巻きながら更に成長するためには、組織の見直しや運営方法などの検討が必要であり、その中で事業の精査を行っていくべきと考えられます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	具体策について、現在、検討中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	7,190 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	7,190 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.40 人	2,718 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.40 人	2,718 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		9,908 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		9,908 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		9,908 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	観光振興事業は民間と行政がそれぞれの役割を分担しながら実施していくことで、観光客のニーズにマッチした、より効果的で柔軟な対応ができます。この意味で、現在の三国観光協会・丸岡観光協会は、地域の実情に即した活動を会員自らが企画立案・実施していることは評価できます。今後、事業内容を精査しながら助成を継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	—	年度を目安
判断理由	観光客のニーズに対応した事業、「おもてなし」を実施するためには、地域の観光に直接携わる関係者等の取組みは重要であり、行政として支援を継続していく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	—	年度を目安
判断理由	現状を基本に、事業内容・効果の検証を踏まえ助成してまいります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	—	年度を目安
判断理由	現在の体制のもとで支援していきます。			
すぐにできる改善提案	観光協会が実施する事業は、それぞれ三国町・丸岡町の地域に限定された事業であり、各会員の会費等も投入されています。会員が企画立案し、主体的に実施できる事業として、会員個々が十分に認識しながら進めていく必要があります。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市の観光振興事業は、観光連盟・観光協会・行政がそれぞれの見地から役割を担っていますが、今後、できるだけ観光連盟に集約することとし、行政は条件整備や後方支援・他自治体との連携に見直しを図っていきます。この中で、2つの観光協会の弱体化も窺われ、組織のあり方についても検討していく必要があると考えています。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	
成果	観光客入込数（坂井市）	人	目標値 5413400 達成率	5286100 達成率	5158800 達成率	5152500 達成率	
		実績値	—	5314700	5449300	5152600	
活動	観光客入込数（丸岡地区）	人	目標値 800000 達成率	800000 達成率	800000 達成率	800000 達成率	
		実績値	—	697300	87.16 853400	106.68 846400	—
活動	観光客入込数（三国地区）	人	目標値 4000000 達成率	4000000 達成率	4000000 達成率	4000000 達成率	
		実績値	—	4082000	102.05 4250600	106.26 3993500	—
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	郷土芸能振興事業		事業コード	07010400301	
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	北澤 和義
事業対象	市民、観光客、三国祭関係区、三国祭保存振興会				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則 産業経済部観光産業課所管補助金交付要綱			
関連計画	無				

【前年度改善案に対する取組状況】

【事業の概要】

県の無形民俗文化財に指定されている三国祭における山車巡行、山車製作、山車屋台修理及び山車蔵建設・修理に助成を行うことにより、三国祭を保存し、後世に伝えとともに、観光の振興を図ります。

- 修繕料
  - ・三国祭市所有山車修繕（山車屋台車輪の修繕）
- 補助金
  - ・三国祭山車事業費補助金
    - ◎三国祭山車製作・保存事業
      - ◎三国祭山車人形製作及び山車巡行に要する経費に対する助成
        - 【補助率等】・山車人形製作に要する経費 600千円/1地区（自主製作の場合 700千円）
        - ・山車巡行に要する経費 350千円/1地区
      - 【事業実施主体】岩崎区、中元区、元新区、下台区、喜宝区、滝谷区、三国祭保存振興会
    - ◎三国祭山車屋台修理事業
      - 山車屋台の修理に要する経費に対する助成
        - 【補助率等】 1/2
        - 【事業内容等】 三の部六町山車会 山車屋台修理

- 役務費（市所有山車保険料）

すぐに行ける改善提案	三国祭の保存・継承のためには当然必要であるべき事業と考えます。現状を維持しながらも、三国祭保存振興会や関係区と連携を取りながら事業を進めています。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費				
		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	1,800	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	7	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	6,904	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	8,711	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.15	人	1,019	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.15	人	1,019	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	9,730	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	9,730	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	財源合計	9,730	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	三国祭の山車巡行は、15万人を超える観光イベント・資源でもあり、保存・継承は観光振興策との位置づけからも、継続して支援していく必要があると考えています。今後も関係団体、区と協議しながら一層の観光資源としての活用を目指していきたいと考えています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	三国祭の山車を保存継承していくため、観光資源としての位置づけから、支援を継続していく必要があると考えています。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の補助額・率は、事業内容から判断し、適当であると考えています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制のなかで対応していきます。			
すぐに行ける改善提案	三国祭の山車保存・継承のためには当然必要であるべき事業と考えます。現状を維持しながらも、三国祭保存振興会や関係区と連携を取りながら事業を進めています。			
目標年度 平成23 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	三国祭の山車の保存継承については、経費的な支援は現状を基本に継続していく必要がありますが、巡行に係る人手不足も問題化してきており、三国祭保存振興会や地元区長会は対応について今後より一層の内部協議が求められます。			
目標年度 -- 年度				

指標名		単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
成果	観光客入込数	人	目標値	185000	達成率	180000	達成率	180000	達成率	180000	達成率
			実績値	150000	81.08	150000	83.33	170000	94.44	150000	---
活動	観光客入込数	人	目標値	185000	達成率	180000	達成率	180000	達成率	180000	達成率
			実績値	150000	81.08	150000	83.33	170000	94.44	150000	---
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

【所属長評価】

事務事業名	まつりイベント事業			事業コード	07010400601		
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	北澤 和義		
事業対象	市民、観光客						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり			事業種別	補助金事業（事業）	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則 産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱					
関連計画	無						

【事業の概要】

まつり、イベントを通して、観光誘客、坂井市のPRを行うとともに、市民の方に憩いのひとときを提供します。

丸岡城桜まつりに対する助成

- 補助金
  - ・丸岡城桜まつり事業費補助金
- 【事業主体】 坂井市丸岡観光協会
- 【補助率等】 補助対象経費の1/2以内
- 【期間】 4月1日～20日
- 【イベント内容】 ステージイベント、物産販売

三国花火大会に対する助成

- 補助金
  - ・三国花火大会事業費補助金
- 【事業主体】 三国花火大会実行委員会
- 【補助率等】 補助対象経費の1/2以内
- 【大会開催日】 8月11日
- 【開催内容】 打上発数 約7,000発

三国温泉カニまつりに対する助成

- 補助金
  - ・三国温泉カニまつり実行委員会事業補助金
- 【事業実施主体】 三国温泉カニまつり実行委員会
- 【補助率等】 補助対象経費の1/2以内
- 【期日】 11月19日、20日
- 【イベント内容】 越前がに大漁市場、ガサエビ鍋無料配布

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費						
		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度				
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	1,969千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	1,969千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.93人	6,319千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.93人	6,319千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費		8,288千円		千円		千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源		8,288千円		千円		千円		千円		千円	
	財源合計		8,288千円		千円		千円		千円		千円	

【事業の成果】

指標名		単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
成果	観光課客入込数（三国花火・丸岡城桜まつり、三国温泉カニまつりの総入込数）	人	目標値	305000	達成率	300000	達成率	295000	達成率	290000	達成率
			実績値	268000	87.87	295000	98.33	270000	91.53	275000	---
活動	観光客入込数（三国花火大会）	人	目標値	210000	達成率	210000	達成率	210000	達成率	210000	達成率
			実績値	200000	95.24	200000	95.24	195000	92.86	190000	---
活動	観光客入込数（丸岡城桜まつり）	人	目標値	65000	達成率	60000	達成率	55000	達成率	50000	達成率
			実績値	50000	76.92	60000	100	60000	109.09	50000	---
活動	観光客入込数（三国温泉カニまつり）	人	目標値	30000	達成率	30000	達成率	30000	達成率	30000	達成率
			実績値	18000	60	35000	116.67	15000	50	30000	---
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	イベントについては、市が事務局を持つものが多数あります。イベントなどは地域活力の元に成り立っており、また、地域の方へ効果が転嫁されるべきものと考えられます。地域に根差すイベントを今後残していくためにも、地域への移管を検討します。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	各種イベントに補助金を支出するだけでなく、人足も提供（協力）している現状については、問題があると思われるので、補助金を基に、自主運営していけるよう指導していく必要があります。
中長期的に取り組むべき改善提案	イベントについては、市が事務局を持つものが多数あります。イベントなどは地域活力の元に成り立っており、また、地域の方へ効果が転嫁されるべきものと考えられます。地域に根差すイベントを今後残していくためにも、地域への移管を検討します。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	各種イベントに補助金を支出するだけでなく、人足も提供（協力）している現状については、問題があると思われるので、補助金を基に、自主運営していけるよう指導していく必要があります。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	まつり、イベントは重要な観光資源であり、今後も継続して実施していく必要があります。ただし、事業のあり方・方向性等については見直し・改善を要するところが多く、関係団体と継続的に協議を進めていかなければならないと考えています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	---	年度を目安
判断理由	まつり、イベントは基本的には実行委員会方式により企画・運営されていることとなっていますが、実質的には行政が関わる分野が非常に多く、実行委員会は形骸化しつつあります。今後は、民間と行政がそれぞれの責任分担を明確化しながら実施していく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	---	年度を目安
判断理由	現状維持を基本としますが、事業規模・効果・内容、協賛金・寄付金の状況を踏まえ、事業の改廃・コストの増減を検討する必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	---	年度を目安
判断理由	他課等の応援を得ながら実施していますが、一時的なことであり、現在の体制で対応していきます。			
すぐにできる改善提案	まつり、イベントは、観光資源でもあり地域活性化の一翼も担っています。本来地域活力のもとで実施されてきたものですが、市が事務局を持つものが多数あります。もつと地域が主体的に関わるよう提案していきます。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、まつり、イベントのあり方、コストの投入の増減等について、縮小・廃止を含め十分論議していく必要があります。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

事務事業名	観光宣伝事業			事業コード	07010401001		
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	森 崇聡		
事業対象	市民、観光客						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	観光情報の発信			事業種別	ソフト事業	
実施主体	その他	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	観光情報の発信・提供		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	坂井市が有する歴史・文化・自然・味覚・祭などの観光資源を広く県内外にPRし、観光誘客を図ります。						
	観光広告看板の設置 ・JR芦原温泉駅 ・えちぜん鉄道服胃液 ラジオ等による広告（イベント情報の提供） ・福井FM放送						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	当事業と同様に坂井市観光連盟に委託している「坂井市観光ビジョン戦略事業」と事業内容に大差がないため、23年度は当事業を廃止し、観光ビジョン戦略事業に一体化して、より良い効果が出るよう取組みます。		
目標年度 平成23 年度			
取組状況	平成23年度では、来年度の予算要求時に、当事業を廃止して「坂井市観光ビジョン戦略事業」と一体化するように予算編成を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	C
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費				
		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	750 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	750 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.48 人	3,262 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.48 人	3,262 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	4,012 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	4,012 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	財源合計	4,012 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	完了しました。	目標年度	平成23	年度を目安
判断理由	観光ビジョン戦略事業として、事業を継続していきます。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	観光ビジョン戦略事業として、市観光連盟を主体に取組みを継続します。			
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	観光ビジョン戦略事業に位置づけ、市観光連盟の事業として効率効果的な取組みとします。			
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	市観光連盟の事業に位置づけ継続していきます。			
すぐにできる改善提案	市観光連盟が主体となって展開する観光ビジョン戦略事業に移行することにより、効率的・効果的な成果が得られるよう改善します。			
目標年度 平成23 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、市観光連盟の組織強化を図りながら、事業の充実・拡大を図っていきます。			
目標年度 平成25 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
観光客入込数		人	目標値	5389000	達成率	5525000	達成率	5057000	達成率	5040000	達成率
			実績値	3777300	70.09	5314700		5449300		5152600	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】



事務事業名	みなと振興交付金事業			事業コード	07010401201
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	北澤 和義
事業対象	市民、観光客				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	歴史文化学習会の運営業務、施設整備設計業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				

【事業の概要】

北前船の寄港地として栄えた三国湊地区の歴史や文化を観光資源として観光客を誘致し、また、地元の方に再認識していただくことにより、地域の活力向上と港の振興を図ります。

三国湊の歴史文化学習会事業  
市内小学生（3、4年生）を対象とした校外学習の一環として、みくに龍翔館を見学の後、遊覧船にて船上から三国湊町や三国港突堤、東尋坊を眺めることにより三国の歴史や文化、自然を学び、地域への愛着と誇りを高める。

- 委託料
  - ・三国湊の歴史文化学習会事業委託料
  - 【実施月】 9月、10月
  - 【参加者】 市内全小学校3、4年生 児童数約900名

三国サンセットビーチリニューアル事業  
天然記念物及び名勝「東尋坊」に指定される三国サンセットビーチにおいて、老朽化した施設の撤去や新施設を整備することにより、魅力ある海岸景観を形成し、三国港地区の活性化を図る。

- 工事費
  - ・三国サンセットビーチ休憩施設新築工事
  - ・上記工事監理業務委託
  - ・サンセットビーチモニュメント等解体工事

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	平成23年度にて、みなと振興交付金事業は終了予定となっています。過去5年間に様々な事業を実施してきましたが、来年度は基幹事業であるサンセットビーチリニューアルを進めていく予定です。これらこれまでに実施した事業を活かすためにも、魅力ある「みなと」と北前船で栄えた歴史文化溢れる「三国湊町」の更なるPRに努めていきたいと思います。	
目標年度 平成23 年度		
取組状況	市内小学生を対象とした校外学習事業「三国湊の歴史文化学習会事業」について引き続き実施を行います。	
中長期的に取り組むべき改善提案		
目標年度 未設定 年度		
取組状況		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費				
		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	7,626	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	17,008	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	24,634	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.25 人	1,699 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.25 人	1,699 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	26,333	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	711	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	25,622	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	財源合計	26,333	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	完了しました。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	観光連携による「みなと」の振興を図るため、平成19年度から取り組んできた当事業は、平成23年度が最終予定年度となっていますが、交付金対象事業費に余地があるため、交付金対象事業費の範囲内で事業を継続します。今後の事業は、小学生を対象とした「三国湊の歴史文化学習会事業」を予定しています。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	—	年度を目安
判断事由	国の交付金対象事業であり、現状どおり継続します。			
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	国の交付金対象事業費の範囲内での実施となり、平成24年度で完了となります。			
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	国の交付金対象事業費の範囲内での実施となり、平成24年度で完了となります。			
すぐにできる改善提案	国の「みなと振興交付金事業」としては、平成24年度で完了となりますが、共同で実施している県の三国サンセットビーチリニューアル事業とあわせ、今後の維持管理、利活用について地元と共に協議・検討する必要があります。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	これまで当事業で実施してきた実績・成果を今後の観光誘客やPRに生かす施策を地元及び三国観光協会、市観光連盟と共に検討していく必要があります。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
成果	観光客入込数（みなと振興計画区域内観光客入込数 三国温泉ゆあぼ〜と、瀧谷寺、三国湊町散	人	目標値	284000	達成率	280000	達成率	276500	達成率	272600	達成率
			実績値	215200	75.77	223800	79.93	243600	88.1	275700	---
活動	観光客入込数（みなと振興計画区域内観光客入込数 三国温泉ゆあぼ〜と、瀧谷寺、三国湊町散	人	目標値	284000	達成率	280000	達成率	276500	達成率	272600	達成率
			実績値	215200	75.77	223800	79.93	243600	88.1	275700	---
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	東尋坊観光地活性化事業			事業コード	07010401301
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	北澤 和義
事業対象	市民、観光客				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				

【事業の概要】

福井県有数の観光地である東尋坊の魅力を高め、再整備を行うことによって、観光に訪れる方へのおもてなしと滞在型観光の推進を図ります。

東尋坊観光交流センター整備事業  
地元商店街が作成した「東尋坊活性化プラン」に基づきながら、官民協力・連携のもと観光情報発信拠点を整備し、滞在型観光を推進する。

東尋坊観光交流センターの運営・充実  
4月29日オープン

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	今年度で、ハード整備が完了しました。今後は様々な面から福井県随一の観光地である東尋坊をバックアップしていきます。訪れる方へのさらなる「おもてなし」を創出すべく、また、それらを市内へ波及させるためにも関係者と協議を行いながらソフト面の整備を行って行きたいと思ひます。
目標年度 平成24 年度	
取組状況	観光交流センターの活用方法について、写真展を開催する等、坂井市の魅力をPRできるような内容を順次、検討をしています。
中長期的に取り組むべき改善提案	今年度で、ハード整備が完了しました。今後は様々な面から福井県随一の観光地である東尋坊をバックアップしていきます。訪れる方へのさらなる「おもてなし」を創出すべく、また、それらを市内へ波及させるためにも関係者と協議を行いながらソフト面の整備を行って行きたいと思ひます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	観光交流センターの活用方法について、写真展を開催する等、坂井市の魅力をPRできるような内容を順次、検討をしています。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	99 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	200 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	5,526 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	5,825 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	0.15 人	1,019 千円	人	千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.15 人	1,019 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	6,844 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		6,844 千円	千円	千円	千円	千円	千円					
財源合計		6,844 千円	千円	千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	東尋坊商店街道路美装化、観光交流センター建設等ハードの事業は完了しましたが、今後はこれらを生かしたソフト事業の充実・実施について「東尋坊活性化プラン」を基本に地元商店街と連携しながら進めていく必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	—	年度を目安
判断理由	地元商店街・観光協会、市観光連盟、行政が連携しながら事業を進めていく必要があります。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	今後、関係団体等と連携しながら、ソフト施策の充実を図っていく必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	—	年度を目安
判断理由	人員については現状の体制において対応していきます。			
すぐにできる改善提案	今年度で、ハード整備が完了しました。今後は、地元・観光諸団体、行政が連携しながら、訪れる観光客への「おもてなし」を創出すべくソフト事業の充実や「東尋坊観光交流センター」の積極的な活用を図る必要があります。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後は、県内一の観光地として、訪れる観光客への「おもてなし」と商店街の活性化を目指し、商店街（東尋坊まちづくり協議会・東尋坊観光協会）が主体となって、東尋坊活性化プランに基づくまちづくりを進めていくことが求められます。また、集客を図ると共に市観光情報の拠点施設として「東尋坊観光交流センター」の内容の充実を図っていく必要があります。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	観光客入込数（東尋坊）	目標値	1300000	達成率		達成率
		実績値	1180300	90.79	1269900	---
活動	観光客入込数（東尋坊）	目標値	1300000	達成率		達成率
		実績値	1180300	90.79	1269900	---
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率

【事業の成果】

事務事業名	シダレザクラの里観光地化事業			事業コード	07010401401		
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	吉田 和博		
事業対象	地域住民、観光客						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり			事業種別	ハード事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の目的・事業の概要等	竹田地区をシダレザクラの里として観光地化することにより、年々過疎化の進む竹田地区の観光地化と活性化を図ります。						
	竹田水車メロディーパークを中心に、シダレザクラやモミジの植栽など各種事業を展開する。						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	過疎化対策、竹田地区の活性化を目的に「竹田水車メロディーパーク」などの施設を市が整備した、物販所「たけだや」を含め同公園の管理運営を地元竹田文化共栄会、水車運営協議会の人たちに委託しています。「たけだや」では、観光情報の提供及び地場産品の販売も行ってはいますが、販売する物品の提供者は一部の地元住民のみであることや、特産的な魅力ある物品がないことなどから、地元住民を巻き込み、専門的な知識を有する人の意見を伺いながら新観光地としての確立を図る必要があります。	
目標年度	未設定	年度
取組状況		
中長期的に取り組むべき改善提案		
目標年度	未設定	年度
取組状況		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	C
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	C
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	276	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	1,475	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	28,321	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	30,072	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.66	人	4,485	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.66	人	4,485	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	34,557	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	10,064	千円	千円	千円	千円	千円	千円
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他		2,500	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		21,993	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	34,557	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	—	年度を目安
判断理由	竹田地区の観光地化と活性化を目的とした施設として「竹田水車メロディーパーク」の整備及びシダレ桜、モミジの植栽等を実施してきましたが、今後は、これらの活用を主としながら、事業を継続していく必要があります。			
実施主体の方向性	地域への移管を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	地域の活性化を目的としている事業であるので、ハード面の整備後は、地域で企画・立案しながら柔軟に事業を展開していく必要があります。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	基本的なハード面の整備は完了するので、今後は維持管理費及び運営の後方支援を主とした事業としていきます。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	基本的なハード面の整備は完了するので、今後は維持管理及び運営と後方支援を主とした事業としていきます。			
すぐにできる改善提案	現在、「竹田水車メロディーパーク」、物販所「たけだや」等市が整備した施設を地元の「竹田文化共栄会」、「水車運営協議会」に委託しています。これらの施設では、観光情報の提供及び地場産品の販売も行ってはいますが、今後は地元住民を巻き込み、有識者の意見を踏まえながら、運営のあり方を検討していく必要があります。市としても運営のあり方として指定管理者制度の導入についても検討します。			
目標年度	平成25	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	市が整備した環境整備、「竹田水車メロディーパーク」の諸施設は、今後、地域が主体となって運営を企画立案、実施していくことが求められるので、自主事業の実施等、地域住民が一丸となって、より魅力ある、ニーズにマッチした有効な活用を目指して運営していく必要があります。			
目標年度	平成29	年度		

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度			
成果	入り込み数	人	目標値	60000	達成率	50000	達成率		
		実績値	56485	94.14	53091	106.18			
成果	たけだや売上金額	千円	目標値	4000	達成率	3000	達成率		
		実績値	5777	144.43	2811	93.7			
活動	地元運営母体「竹田水車運営協議会」との調整会議数	回	目標値	24	達成率	12	達成率	12	達成率
		実績値	4	16.67	24	200	14	116.67	
			目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値							

事務事業名	特産品奨励事業			事業コード	07010401601
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	森 崇聡
事業対象	市民、観光客				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	特産品の管理及び販売
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

本市の一筆啓上賞「日本一短い手紙」と愛媛県西予市の「かまぼこ板の絵」のコラボ作品を織込んだ越前織を制作し、配布・販売することで、市内外に坂井市をPRします。

坂井市の特産品である越前織を活用したコラボ作品を制作し、坂井市の特産品や一筆啓上賞を広く宣伝する。

すぐにできる改善提案	PR用、販売用として、「越前織」を活用した一筆啓上賞とかまぼこ板の絵のコラボ作品を制作しました。今後、新たな作品も織り込み、購入意欲を沸かせるような魅力的なものに改良していく必要があると考えられます。
目標年度 平成23 年度	
取組状況	人気のある作品の増刷を行ったり、新作を織り込んだ越前織を制作しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	1,470 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	1,470 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.10 人	680 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.10 人	680 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		2,150 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		2,150 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計			2,150 千円		千円		千円		千円	

事業の方向性	休止します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	2年にわたって実施しました越前織を活用した一筆啓上賞とかまぼこ板の絵のコラボ作品の制作は、今回で終了することとし、今後はまた新たな視点で地域特産品と観光PRを結びつけた題材を検討していきます。			
実施主体の方向性	休止します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の企画は一旦休止することとしますが、今後、新たな企画を立案した場合においても、実施主体については検討することとします。			
コスト投入の方向性	休止します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の企画は一旦休止することとしますが、今後、新たな企画を立案した場合においても、事業費については検討することとします。			
人員投入の方向性	休止します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の企画は一旦休止することとしますが、今後、新たな企画を立案した場合においても、事業主体を含め人員についても検討します。			
すぐにできる改善提案	地域特産品を活用した観光PR（一部販売）用として、「越前織」を活用した一筆啓上賞とかまぼこ板の絵のコラボ作品を制作しました。今後、これらの有効活用を図っていく必要があります。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も、地域の特産品、地場産業、オンリーワン製品を活用しながら、観光誘客や観光PRを図っていく必要があり、市内の関係機関や団体と企画立案のため、連携及び情報収集していく必要があります。			
目標年度 平成29 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
展示場所数	箇所		目標値	30	達成率	20	達成率		達成率		達成率
			実績値	10	33.33	10					
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	地域資源発掘事業			事業コード	07010401701		
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	森 崇聡		
事業対象	観光客、写真愛好家						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の目的・事業の概要等	坂井市全域を撮影対象とした写真コンテストを実施して、広く募集することで、坂井市を訪れた観光客や市内外の写真愛好家たちに、坂井市の新たな魅力を発掘していただくことを目的としています。						
	坂井市四季の風景フォトコンテスト ・募集期間 平成23年6月～平成24年2月末 一般の部 ジュニアの部						

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	応募作品の返却に関して明確な取り決めをして、事務の効率化を図ります。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	C
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費						
		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度				
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	252 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	76 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	385 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	713 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.32 人	2,174 千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.32 人	2,174 千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	2,887 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		一般財源	2,887 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	財源合計	2,887 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	市として初の実施となったフォトコンテストでしたが、応募者も内容も概ね期待に沿ったものでした。今後、継続していくことで定着化と更なるレベルアップ、観光入込みを見込まれると考えています。実施の方法については、改善の余地があると考えています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	実施については市が主体となる方法もありますが、観光PR、観光誘客という目的から考えると市観光連盟主体も検討する必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	コストについては、現行の範囲で実施できると考えています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市主体の場合でも、現在の体制で対応できると考えていますが、できる限り省力化できるようなあり方を検討する必要があります。			
すぐにできる改善提案	フォトコンテストは、撮影に係る観光誘客も目的ですが、応募された作品の活用も重要です。今後、市内の観光施設をはじめとした各施設で展示するなど、作品を通じて市内観光地のPRを図っていく必要があります。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、コンテストの開催方法、事業主体、募集要項、作品の有効活用などいろいろな視点から改善・検証していく必要があります。			
目標年度 平成25 年度				

【所属長評価】

指標名		単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	応募数	点	目標値	100	達成率		達成率
			実績値	222	222		
成果	入賞作品の展示回数	回	目標値	0	達成率		達成率
			実績値	0	--		
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				

【事業の成果】

事務事業名	観光施設維持管理事業			事業コード	07010500203		
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	吉田 和博		
事業対象	市民・観光客						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	観光のネットワーク化			事業種別	ハード事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	市民及び観光客が安全で快適に利用できるよう、県下最大の観光地である坂井市の観光施設の適切な維持管理を図ります。						
	施設及び公園等の適切な管理運営						
事業の目的・事業の概要等							

すぐにできる改善提案	県内に入り込む観光客の約2割が本市を訪れています。経済効果にも反映するリピータの増加を鑑みた場合、良い印象を持ってもらわなければなりません。そのため、既存観光施設の維持・管理は不可欠なものであります。今後とも、最少の経費で、最大の効果を発揮できるよう考慮しながら、快適な環境整備に努めていく必要があると思われれます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費				
		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	3,007	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	1,275	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	44	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	17,023	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	21,349	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.38 人	2,582 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.38 人	2,582 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	23,931	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
事業費	特定財源	国県支出金	2,610	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	一般財源	21,321	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	財源合計	23,931	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市の観光客入込数は、県内一となっていますが、これは景観・施設・催しなど多様な観光資源を有していることを意味しています。訪れた観光客の「もてなし」により印象度、好感度は大きく左右されるものであり、これからの入込み増加、リピーター化を図る上でも、観光施設の維持管理は重要と考えています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	観光施設、観光資源の維持管理は、地域産業の活性化、まちづくりとも位置づけられるので、行政ばかりではなく、地域・観光関係団体が連携しながら取り組んでいく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	経費については、現状維持を基本としながらも、観光客への「もてなし」に配慮した環境整備となるよう取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を基本としながらも、行政ばかりではなく、地域・観光関連団体等と連携しながら取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	訪れた観光客に良い印象を持ってもらえるよう、今後とも、最小の経費で最大の効果を発揮することを念頭に、各関係団体等と協力しながら快適な環境整備に努めていく必要があります。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後とも、市・地元地域・観光関係団体が連携協力しながら、「おもてなし」の心を念頭に観光施設・環境の良好な維持管理に努めていく必要があります。			
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度			
成果	維持管理している施設の数	目標値		3	達成率	1	達成率	1	達成率
		実績値							
活動	維持管理している施設の数	目標値		3	達成率	1	達成率	1	達成率
		実績値							
		目標値		達成率		達成率		達成率	
		実績値							
		目標値		達成率		達成率		達成率	
		実績値							
		目標値		達成率		達成率		達成率	
		実績値							

事務事業名	指定管理事業			事業コード	07010500301
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	吉田 和博
事業対象	市内外の利用者および県内外の観光客				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	効率的な行政運営の推進		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				

すぐにできる改善提案	〈ゆあぼ〜と〉開業から15年以上が経ち、施設の老朽化が目立ち23年度も修繕がありました。修繕が行われると直接営業にも支障をきたすので、指定管理者・定期点検業者・所管課の三者が綿密な連携をしておく必要があります。	
目標年度 未設定 年度	（丸岡城関連施設・丸岡観光センター）	
取組状況		
中長期的に取り組むべき改善提案		
目標年度 未設定 年度		
取組状況		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

市管理から指定管理者に移行することにより、利用者に対するサービスの向上と経費削減を図ります。

三国温泉ゆあぼ〜と温泉施設として観光客や市民に対し憩いの場を提供するため、三国温泉ゆあぼ〜とを適切に管理運営する。また、三国温泉として、民宿、旅館及び越前三国国民休暇村への円滑な給湯業務を実施する。

丸岡城関連施設  
丸岡城は観光と文化の振興を図ることを目的とした公共の文化遺産であることから、利用者のニーズを積極的に取り入れるなど、効果的・効率的な管理運営を行う。なお、管理運営にあたっては、観光諸団体、地域との連携を図り、市の施策目的に沿って、相乗効果を高め、観光と文化の振興を図る。

丸岡観光情報センター  
丸岡城を訪れる観光客に対し、観光情報の拠点として積極的に坂井市の観光PR活動を行うとともに、市内の特産品等の販売を行い、再び訪れたいくなるよう「心」でのおもてなしに努める。

たけくらべ広場  
春には約6万人の花見客で賑わうなど新たな観光地として脚光を浴びているたけくらべ広場の管理運営を適切に実施することにより、利用者の利便性を高めるとともに、竹田地区の発展に寄与する。

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	43,000 千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	千円	千円	千円	千円				
		役務費	29 千円	千円	千円	千円				
		その他	1,122 千円	千円	千円	千円				
		事業費合計	44,151 千円	千円	千円	千円				
	人件費	正職員	0.41 人	2,786 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.41 人	2,786 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	46,937 千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円			
その他			578 千円	千円	千円	千円				
一般財源		46,359 千円	千円	千円	千円					
財源合計		46,937 千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	施設の運営管理については、観光客へのサービス向上を念頭に直営・業務委託・指定管理者制度・民間移譲等、あり方を検討します。また、指定管理者制度を導入した施設にあっても、運営状況を把握し指導点検を行うと共に契約満了時には評価を検証しながら、以後の管理運営に生かすよう努めます。			
実施主体の方向性	民間への移管を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	施設の設置目的、運営状況、経費負担の状況等を踏まえ、観光サービスの向上を念頭に、民間への移行・譲渡を含めた民間活力・ノウハウの導入を進めます。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状における経費負担を基本にしながらも、サービスの向上とコスト軽減につながるような運営のあり方を検討します。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	経費負担の軽減と共に、人的負担の削減につながるような管理運営のあり方を検討していきます。			
すぐにできる改善提案	指定管理者制度を導入している施設にあつては、観光サービスの向上と施設の効率効果的な運営がなされているか点検・指導すると共に、契約満了時には適切な検証・評価を行います。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	各施設について、設置目的、利用状況、経費負担、サービスの現状を踏まえ、直営・業務委託・指定管理者制度・移譲等、管理運営のあり方について、不断の見直し・改善に努めます。			
目標年度 平成29 年度				

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	利用者・入場者	目標値	405000	達成率 407300	達成率 417553	達成率 417553
		実績値	389624	96.2	396130	406229
活動	指導回数	目標値	12	達成率 10	達成率 10	達成率 10
		実績値	12	100	12	120
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【担当者評価】

【所属長評価】

【事業の成果】

事務事業名	丸岡城周辺整備基金			事業コード	13020900101		
所管部署	観光産業課	電話		記入者名	江澤 正隆		
事業対象							
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり			事業種別	施設管理事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	丸岡城周辺の整備及び丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置します。						
	丸岡城周辺整備基金の管理 平成23年度末現在 基金残高342,112,027円						
事業の目的・事業の概要等							

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	諸支出金	項	基金費	目	丸岡城周辺整備基金費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円				
		委託費	千円	千円	千円	千円				
		需用費	千円	千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	209千円	千円	千円	千円				
	事業費合計	209千円	千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.01人	68千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.01人	68千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		277千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
その他		209千円	千円	千円	千円					
一般財源		68千円	千円	千円	千円					
財源合計		277千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	貴重な文化財・観光資源としてできる限り安定的な整備を図っていくため、財政状況を踏まえたうえで基金の造成・運用を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状どおり、市の財政状況を踏まえた中で基金の運用を継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市の財政状況を踏まえたうえで、丸岡城及び周辺の整備のための基金の運用を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制により継続していきます。			
すぐにできる改善提案	基金の趣旨・目的に沿った事業において、市の財政運営方針に基づき活用していきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	基金の設置目的を踏まえた運用を行っていきませんが、基金管理所管について活用状況を踏まえ検討することとします。			
目標年度	--	年度		

事業の成果	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
	当初基金残高	円	目標値				
			実績値	147903239	104515170	20134035	28681719
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
			目標値				
実績値							

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

